

もっと
知りたい！

関連Webサイト案内

農業水利のこと、事業のことをもっと知りたいときは
このページで紹介する二次元バーコードを読み取って
色んなWebサイトで気になることを調べてみてください。

事業について知りたい！

最上川下流左岸事業所HP



北楯大堰をもっと知りたい！

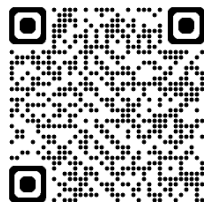
山形県による紹介記事



地域の農業水利を支える団体

国営事業は国だけで行なっているのではなく、
県や市町、土地改良区と協力して取り組んでいます。

山形県



庄内町



酒田市



最上川
土地改良区



かんがい用水って何のため？



最上川下流左岸事業所
マスコットキャラクター



モガくん

サガちゃん

ヤツメさん

東北農政局最上川下流左岸農業水利事業所

かんがい用水って何？

言葉の意味

^{のうさくもつ}農作物を育てるために、ダム
^{すいろ}や水路などの施設を使って人工
^{たはた}的に田畑に水を配ることを「か
んがい」と言います。

また、かんがいによって田畑
に引く水を「かんがい用水^{ようすい}」と
よ呼んでいます。

必要な理由

ダムや水路^{すいろ}がつくられるよう
になるまで、田畑^{たはた}の水は雨水^{あまみず}や
小さな沢の水がたよりでした。

しかしながら、田畑^{たはた}に水がほ
しいとき必ず雨が降るわけでは
ありません。日照^{ひで}りが続けば水^{つづ}
はすぐに無くなって、作物^{さくもつ}は簡
単^{たん}に枯れてしまいます。

かんがいの効果

そこで、この「かんがい」と
いう仕組みが生まれました。

ため池やダム、水路^{すいろ}などのほ
たらきによって、農業は天候^{てんこう}に
左右されづらくなりました。そ
の結果、たくさんの農作物^{のうさくもつ}が安
定^{しゅうかく}して収穫されるようになった
のです。

「かんがい」に
使うのは
こんな施設！



用水路



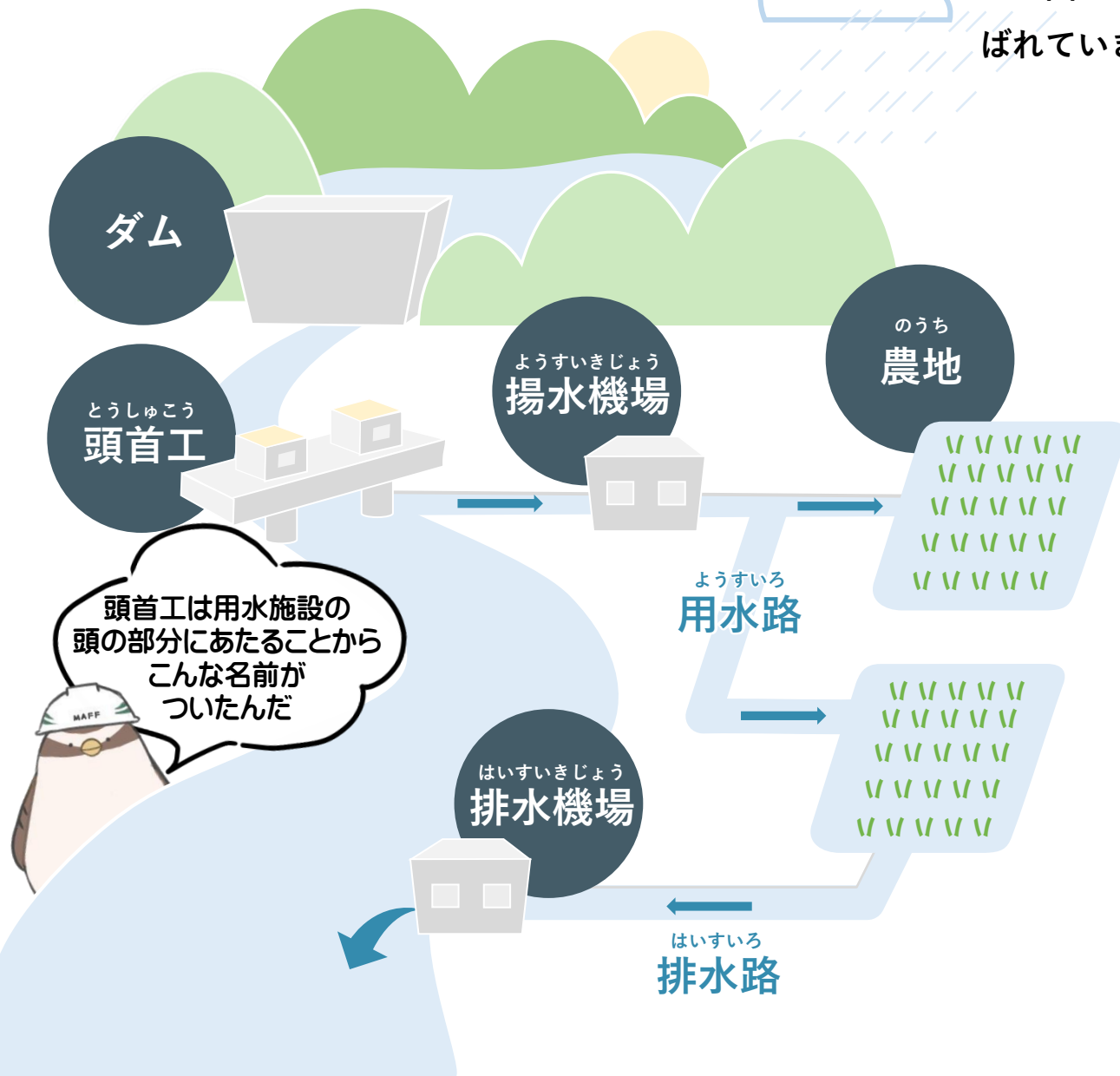
頭首工

雨が少ない季節や
干ばつのときも
川や地下の水を
使えたら安心だよね



どうやって水を運ぶの？

その土地によって違いはありますが、^{きほんてき}基本的には図のような^{しせつ}施設によって、^{のうち}農地まで水が運ばれていきます。



ダム

水をせき止めて^た貯めておく

頭首工

川から水を取って^{すいろ}水路に流す

揚水機場

ポンプで水を高いところにくみ上げる

用水路

農地に水を運ぶ

排水路

余分な水を川に運ぶ

排水機場

ポンプで余分な水をくみ上げて川に吐き出す

庄内平野かんがいの歴史

昔、海とつながる大きな湖だったところに川を流れてきた土砂がたい積して、庄内平野が生まれたと言われています。

きただてのおおぜき たちやざわがわ もがみがわ
北楯大堰は立谷沢川（最上川とつながる川）の水を、庄内平野の水田に運ぶための水路です。

2018年に、「世界かんがい施設遺産」に登録されました。



北楯大堰

奈良時代

和銅5年（712）
庄内に出羽国が成立
移住者が開拓を始める

沢や沼の水を使った稲作
日照りが続くとすぐに
稲が枯れる不安定な時代

水の問題が
解決しはじめ
荒野がゆたかな
水田になる

調査に10年
工事は4ヶ月



北館大学助利長像
（北館神社）

江戸時代

現在
広大な庄内平野は
米の名産地として有名に
かつて造られた施設も
改良や修復を行いながら
今もなお現役で活躍中！

慶長17年（1612）

狩川城主 北館大学助利長が
きただてのおおぜき
北楯大堰をつくる